

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年12月4日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4071201356
法人名	有限会社 ナオン
事業所名	グループホームまふえー
所在地 (電話番号)	福岡市西区大字西浦字川フケ1038番地1 (電話) 092-809-1239
評価機関名	社団法人 福岡県介護福祉士会
所在地	福岡市博多区博多駅前中央街7-1シック博多駅前ビル5F
訪問調査日	平成20年10月29日

## 【情報提供票より】(平成20年9月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 11月 1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	10 人
利用定員数計	9 人
常勤	4人, 非常勤 6人, 常勤換算 5.6人

### (2) 建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="radio"/> 単独 <input type="radio"/>	新築 <input checked="" type="radio"/> 改築 <input type="radio"/>
建物構造	木造	
	1階建ての	1階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	533 円	
敷金	有( 円)	無 <input checked="" type="radio"/>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	450 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(平成20年9月15日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	6 名		
要介護3	1 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 75 歳	最低	61 歳	最高	103 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	吉田内科消化器科
---------	----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームまふえーは、海と山が近くにあり自然環境に恵まれた場所に立地している。食事に関して、地元の漁師や農家と契約し、新鮮な食材を確保し、また、ホームの畑で育てられた野菜を食事に取り入れて、食の楽しみにつながっている。これは、事業所の特徴のひとつと言える。地域に馴染んで暮らしてもらいたいという思いの基、地域との関係を築いていたため、地域の方々が気軽に立ち寄っていただけるようになり、利用者とも顔なじみの関係ができています。職員同士が地元ということや運営者から資格取得などのスキルアップの支援があり離職者が少ない。利用者職員は馴染みの関係ができており、理念の中にある「入居者自らの意思で考え行動し、自由・尊厳・喜びのある生活を支援します」を真摯に実践出来ている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価において改善課題にあがった①理念の具体化②運営推進会議における行政の参加③権利擁護に関する制度の全職員の理解④介護計画の作成過程について各項目に対し改善に取り組んだ。全職員が外部評価の意義を理解している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>① 今回の自己評価は、職員みんなで取組み一つにまとめた。日頃行っているケアの見直しや意義を再認識することができている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>家族、地域の方、職員の参加のもと2ヶ月から3ヶ月に1回日曜日に開催している。ホームの現状報告を中心に救急車の対応やホームにAEDを設置する案などが話し合われた。ただ、行政担当者の参加が実現しておらず議事録の提出にとどまっている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)</p> <p>意見箱を設置している。家族の訪問時には、担当職員が声をかけ意見や要望を伺うと共に、運営推進会議においても家族から意見がいただけるよう取組んでいる。また、職員に話にくい内容があることを想定して、法人代表者の携帯番号を伝え直接言えるようにして意見の表出に努めており、表出された意見や苦情等は記録に残し、対応策を職員も含めて話しあい改善に努めている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>理念にある「入居者が地域とともに地域の一員として暮らすことを支援します」を実践するため日頃から地域とのつきあいを大切にしている。隣近所の方がお茶飲みを訪ねたり花を持ってきてくれたり、ホームの畑の指導をしてくれる。子ども達がすぐ側の川からどじょうや亀を持ってきてくれるなどという事も利用者とも顔なじみの関係が出来ていて深い交流がなされている。</p>

## 2. 調査結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	元来の理念「普通の暮らし+α」をより具体的なものにするため運営者・職員で話し合い、「①入居者自らの意思で考え行動し、自由・尊厳・喜びのある生活を支援します。②入居者が地域とともに地域の一人として暮らすことを支援します」の2点を元来の理念として付け加えホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼やミーティング、日々の業務を通して理念について唱和や話し合い、確認が行われ、運営者・管理者と職員の間で理念を共有している。利用者自らの意思を尊重し、地域の一員として暮らす支援を実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	理念にある「入居者が地域とともに地域の一員として暮らすことを支援します」を実践するため日頃から地域とのつきあいを大切にしている。隣近所の方がお茶飲みにも訪問されたり花を持ってきてくれたり、ホームの畑の指導をしてくれる。子ども達がすぐ側の川からどじょうや亀を持ってきてくれるなどという事もあり利用者とも顔なじみの関係であり深い交流がなされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、職員みんなで取組み一つにまとめた。日頃行っているケアの見直しや意義を再認識することができている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、地域の方、職員の参加のもと2ヶ月から3ヶ月に1回日曜日に開催している。ホームの現状報告を中心に救急車の対応やホームにAEDを設置する案などが話し合われた。ただ、行政担当者の参加が実現しておらず議事録の提出にとどまっている。	○	運営推進会議のメンバーは、幅広い立場の人の参加が望まれることから行政担当者や利用者本人などの参加が望ましい。開催曜日が日曜日で行政担当者の参加が難しいようであれば曜日を変えるなどの工夫への取り組みに期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者が市町村担当者とはホーム立ち上げの際から相談するなどの行き来が行われており、情報の収集やホーム運営の相談ごとなどこまめにやり関係づくりに努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	過去に成年後見制度を利用された方がおられたが現在はいない。外部研修に参加し、必要な人に橋渡しができるよう職員に伝達研修が行われている。入居の際、利用者・家族に制度についての説明も行われている。管理者・ケアマネジャーが窓口になり制度の活用が支援できる体制を整えている。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「まふえー通信」を通して、利用者の生活状況や健康状態、催事などと共に担当者がコメントを記入し、請求書と一緒に郵送により報告をしている。担当者の変更があった場合は家族に文章(コメント)で伝え、面会時にも説明が行われている。また遠方の家族には随時電話での報告も行われている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。家族の訪問時には、担当職員が声をかけ意見や要望を伺うと共に、運営推進会議においても家族から意見がいただけるよう取組んでいる。また、職員に話にくい内容があることを想定して、法人代表者の携帯番号を伝え直接言えるようにして意見の表出に努めており、表出された意見や苦情等は記録に残し、対応策を職員も含めて話しあい改善に努めている。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者ごとに担当制を設けている。担当が替わることがあるが、離職や異動によるものではなく、スタッフ全員が担当できるようにと定期的な担当変更である。離職、退職がほとんど無く利用者との関係においてダメージは見受けられない。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から除外しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	法人代表者及び管理者は職員の募集・採用にあたっては、性別や年齢等を理由に採用対象から外すことはしていない。事業所で働く職員においては、法人代表者・先輩職員からの適切なアドバイスがある。資格取得において支援もあり、職員のやる気に繋がっている。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	法人代表者・管理者・職員ともにインターネットから人権教育の資料を集め、資料をもとにミーティング時に学習が行われ、繰り返し言葉使い等についての指導が行われている。近隣のお寺の住職が訪問の際にはお説教を聞くなどし啓発活動に取り組んでいる。		
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、スキルアップのため受講を指示した場合には費用は会社が負担するものと考えており、職員も資格取得等のスキルアップにおいて意欲的に取組んでいる。管理者がケアの中で、体験談等をもとに説明・指導を行っている。また、職員間においても自分の意見等を出し合いながらお互いが指摘し合えるようになり切磋琢磨できる関係を築き上げている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
14	22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者・管理者は同業者との交流・連携の必要性を認識しており、近隣の同業者と花火やバーベキューの催しを合同で行なった。利用者同伴で互いのホームを相互訪問したり、職員の実習をするなど交流を深め互いにサービスの質が向上できるように取組んでいる。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の相談を受けた場合、事前に自宅、入院先等を訪問し職員との馴染みを考慮したり、環境が一変しないよう馴染みの物品や部屋の配置など配慮している。体験入居もしていただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生経験豊富な利用者から、調理の仕方、掃除の仕方など職員は教えてもらうことがある。また習慣や昔の知恵から知らなかったことを教えていただくこともある。調理の下ごしらえ(野菜の皮をむくなど)など職員と協働ですることが多く、お互いが尊重し支えあいながら過ごしている。		
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	事前に家族や本人から生活歴や意向を聞き、出来るだけ本人が望む生活環境に近づけていけるよう努めている。意向の把握が困難な入居者に対しては、日常生活の中でコミュニケーションをとりながら本人の思いに近づけるよう支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居前の状態などを家族等から伺い、情報収集を行なっている。アセスメントを実施し、家族・本人や担当職員で話し合い、それぞれの意見や意向をケアマネジャーがまとめ、それぞれの意見を反映した介護計画の作成に努めている。		
19	39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月に1度モニタリングを行いケアの見直しを検討しているが、記録がなされていない。状態に変化があった時は随時、本人や家族・職員を交えて話し合い、新たな介護計画を作成している。	○	モニタリングの都度、内容を記録し全職員誰が見ても分かるように整理してファイリングしておくことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望に応じ、外出やおやつバイキングなど柔軟な支援に努めている。かかりつけ医への通院介助や、美容師の資格を持った職員が無料で整髪を行うなどのサービスをしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回の在宅総合診療を実施しているほか、希望される医療機関への連携も充実している。希望に応じてかかりつけ医への通院介助も行っている。受診後は、電話や郵送によって家族へ状態を報告している。重度な患者に対しては、医師から直接家族に説明してもらうようにしている。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	実際に二人の利用者の終末期をホームで体験している。最期の看取りは病院であったが、本人・家族の希望があれば看取りまで出来る体制を整える準備がある。全職員間において、医療・ケアを話し合い学ぶ機会を設けて、対応や情報を共有できるようにしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊厳に十分配慮している。管理者は、毎日のケアの中で言葉掛け等に気になることがあれば、その場で注意をしている。また、言葉掛けや接遇等の勉強会を行い安心してコミュニケーションが図れるよう努めている。個人情報に関する書類は、職員だけが出入りする部屋で管理されている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースに合わせた対応を心がけ、天候や気分・体調を踏まえ、その日の過ごし方を利用者を決めてもらうよう促している。予定外の外出など希望された場合、可能な限り柔軟に対応している。利用者によっては、声掛けをしながら意向に添えるよう工夫してしている。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好にあわせ調理を工夫したり、献立を一緒に考えたりしながら食事を楽してもらえるよう支援している。利用者一人ひとりの力に合わせ調理の下ごしらえ・配膳・引き膳・台拭きなど一緒にするよう支援している。職員も利用者と一緒に同じテーブルで同じ食事を楽しみながら昼食をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、利用者の希望の時間に入浴出来るようになっていく。好みに応じて、入浴剤を入れたり柚子の皮を入れたりして楽しんでもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎月のプログラムとして、ドライブ・食事会・買い物・おやつ会などを企画している。最近ではコスモスを見に行き、利用者から好評であった。また、掃除・入浴後の個人の洗濯など利用者の能力に合わせて、個人の力の発揮・楽しみにつなげられるよう支援している。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	「わがままデー」と称し、利用者が1人の職員を選びドライブ・買い物・散歩などに出かけられるよう工夫している。呼子にドライブに行かれたり、百道までバイキングにいかれた利用者もおられる。今では、自由に職員と出かけることが定着し日常的に散歩や買い物を楽しまれている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員全員が、鍵をかけることへの弊害を理解しており、玄関は施錠はしていない。昔からの地域性もあり、地域住民によるサポート体制が自然に出来ている。利用者の安全をより確保するために、現在、玄関にセンサーを取り付けている。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回訓練を実施している。1回は消防署立会いの下、水消火器等を使用し、昼間・夜間を想定して避難訓練を行っている。運営推進会議において地域の方に協力をお願いしている。また、地域に婦人消防団があり、職員も参加している。もう1回は、ホーム独自で利用者を交え、避難訓練を行っているが記録がない。	○	ホーム独自の避難訓練についても、訓練実施日・状況・反省などの課題点は無かったか等の記録を残すことが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算をし、栄養バランスの良い食事を提供している。安全・新鮮な食材を提供し、食事摂取量・水分摂取量を記録・把握したうえで健康状態を管理できるよう努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	近隣住民が来訪された際、持ってきていただいたお花を飾ったり、近所の子供たちが持ってきた観賞用の魚を飼育するなど自然な家庭の生活を思わせるような環境づくりができていく。外出時の写真を掲示したり、いけばな等で季節感を取り入れている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具等を持ち込んでいただき入居前の生活環境を参考に配置したり、希望があれば畳の居室を提供している。出来るだけ利用者本人の希望を取り入れ、自分の家と思えるよう支援している。</p>		